



オールしまねCOC+事業クリエイティブラボネットワーク
技術コミュニティラボ第8回ミーティング

ミドリゾウリムシの 特徴と応用の可能性

シーズのPR
ポイント!

- ▶ゾウリムシを用いた人畜無害な水質浄化
- ▶共生クロレラのエネルギー資源としての利用
- ▶メダカやゼブラフィッシュ等の幼魚の飼料としての利用

異分野・異業種の方も
是非ご参加下さい!

日時：2019年10月2日(水) 13:30-15:30

会場：島根大学 地域未来協創本部(北陵町)

※ ソフトビジネスパーク島根内

定員：10~30名

申込期限：2019年9月27日(金)まで

申込：島根大学地域未来協創本部(裏面を御覧ください)

対象：企業、自治体、大学/高専(学生)、連携コーディネーター

趣旨：大学と地域産業界が未来の技術や研究分野について自由な雰囲気
で議論や意見交換をすることにより交流を深めることができ
る**少人数・双方向性の情報交換会**です。



プログラム

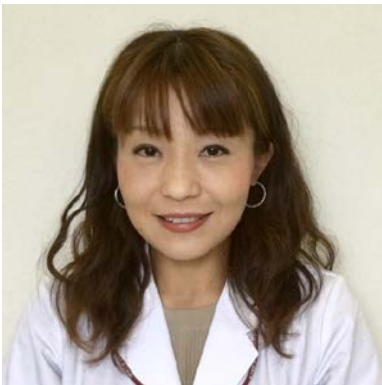
13:30~ 参加者自己紹介/ 情報提供:島根大学学術研究院農生命科学系 児玉有紀 准教授

14:30~ 意見交換・ディスカッション

15:30 終了(今回は懇親会はありませんが、コーヒー等を準備しております)

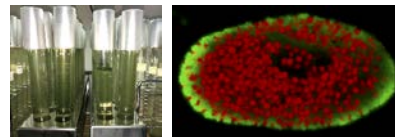
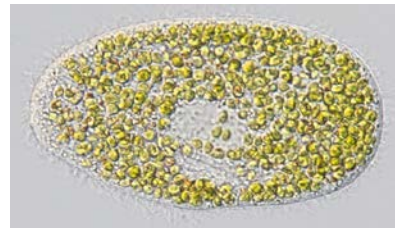


ミドリゾウリムシという生物をご存知ですか? ミドリゾウリムシは池や沼や水田など、皆さんの身近な淡水中に生息している、体長が0.1ミリ程度の綺麗な緑色をしたゾウリムシです。緑色の正体は細胞内に共生しているクロレラです。ミドリゾウリムシとクロレラは、細胞内共生研究の新たなモデル生物として注目されていますが、基礎研究だけでなく、環境保全や医療分野や幼魚の飼料としての利用等への応用も期待されています。今回は、ミドリゾウリムシの生態や特徴やその魅力、応用の可能性について、実際の研究例の紹介を交えながらお話をさせていただきます。



情報提供 島根大学学術研究院農生命科学系
児玉 有紀 准教授

2008年3月山口大学大学院理工学研究科博士後期課程修了, 2008年4月日本学術振興会特別研究員PD, 2009年4月高知大学教育研究部自然科学系理学部門(理学部生物科学科担当)助教, 2012年12月島根大学生物資源科学部生物科学科准教授, 2019年4月より同学学術研究院農生命科学系准教授となり、現在に至る。専門は共生生物学, 進化生物学。博士(理学)



主催：島根大学・島根県

申込先・問合せ 島根大学地域未来協創本部(担当:服部 大輔、高須 佳奈)
Tel:0852-60-2290 Fax:0852-60-2395 crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp

